

インターンシップを通して当社の魅力を発信

高まる インターンシップへの期待

学生が実習などのプログラムに沿って就業体験をするインターンシップ制度を活用する企業が増えています。欧米では早くから主流となっていたこの制度ですが、日本でも年々、参加学生が増加し、文部科学省の調査では、この10年で約2倍の伸びを示しています。

インターンシップを通して学生は、社員から直接話を聞いたり、業務を体験したりすることで、仕事や業界への理解を深めることや、会社の雰囲気や風土、社員の人柄なども知ることができます。また、就業体験をすることにより、学生が自らの適性や能力について考え、自分が学んできたことが社会でどれだけ活かせるのかを知る絶好のチャンスとなります。

就業体験により課題解決・対応力を身に付けたり、信頼関係を構築することの大切さを学んだりする場にもなっています。さらに、会社の業務を把握してもらうことで、業界への興味を促すことができます。

IoT、センシング、AIを使った 製品開発を体験

エンベデッドシステム事業部では、組み込みシステムに興味のある学生向けのインターンシップとして2つのテーマを用意しています(図)。

一つ目は、当社の得意領域である画像認識

技術と車載開発で活用されているモデルベース開発環境のMATLAB/Simulinkを使い、ディープラーニングとAIの技術を融合させて、どのような製品ができるか学生自身がアイデアを出し合い、製品仕立てに開発を体感する内容です。

二つ目は、ソニー製のMESHタグというIoTデバイスを使い、アイデアソンというアイデア出しをする手法により何ができるかを検討し、実際にモノづくりをして、最終日に製品発表を行う内容です。考えた製品がすでに世の中にあるのか、どれくらいの価格で販売されているのか、など、市場調査も同時に行い製品の差異化についても考えてもらいます。

こうした製品開発体験では、企画力はもちろん、グループワークにおける協調性、積極性や責任感などが問われます。また、仕事の進め方やグループでの役割などについての理解を深めることができ、組み込みシステムの業務について知ってもらう機会となっています。これらのインターンシップに参加したことをきっかけに、学生の中には、体験したテーマに関連した卒業研究をする人も少なくありません。

このほか、他事業部でもインターン

シップを開催しており、「機械学習のアルゴリズムを用いて過去データから将来予測するデータ分析・予測業務」(SIソリューション事業部)や「アナログLSIの設計自動化ツールによる設計および実デバイスとして基板搭載による実機検証の体験」(LSIソリューション事業部)など、それぞれに事業部の特色を出したコースがあります。

このように当社の技術について深く理解してもらうインターンシップを、2018年夏と2019年冬とで十数回実施してきました。2020年春入社した新卒社員は、その時のインターンシップに参加したことで当社に興味を持ち応募してきた人たちが半数近くを占めています。等身大の当社を見て、実際の仕事を体験できるインターンシップは、学生・企業双方にとって意義のあるものだと実感しています。

昨今のコロナ禍により、対面によるグループワークの実施が難しくなっています。今後のインターンシップは、リモートでの実施も検討していく必要があります。ツールや環境を整えていくことで、引き続き当社の業務や魅力についてより多くの学生に理解してもらえよう努めていきたいと思っています。

(エンベデッドシステム事業部 結城 健晴)

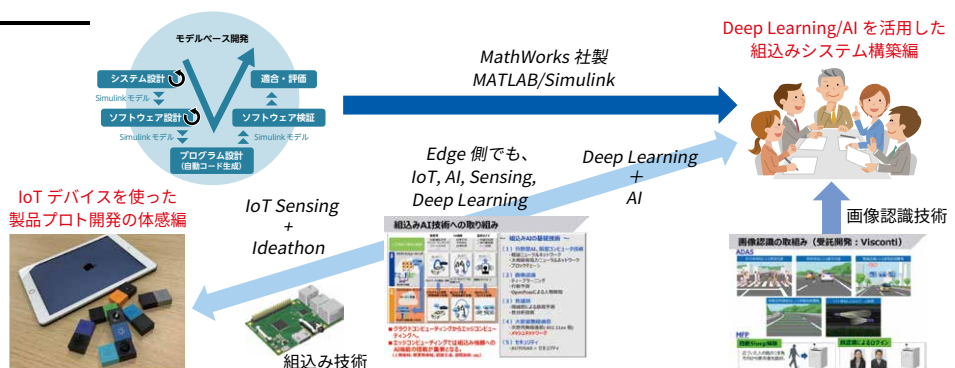


図 実習の一例